

大細胞型B細胞リンパ腫 (large B-cell lymphoma : LBCL),濾胞性リンパ腫(follicular lymphoma: FL)

- 大細胞型B細胞リンパ腫 (LBCL)とは、悪性リンパ腫の分類の1つで、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)、高悪性度B細胞リンパ腫、原発性縦隔大細胞型B細胞リンパ腫等の病型が含まれる。これらの疾患では、主にDLBCLと同様の治療が行われる。
- 濾胞性リンパ腫(FL)とは、低悪性度B細胞リンパ腫であり、病理組織学的にGrade 1,2,3A,3Bに分類される。 Grade 3Bの場合は中・高悪性度リンパ腫として治療され、主にDLBCLと同様の治療が行われる。
- 再発・再燃のDLBCLに対しては、救済化学療法、キメラ抗原受容体T(CAR-T)細胞療法、救済化学療法後の自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法が実施される。これらの治療に無効あるいは再発した患者に対しては、前治療や患者の状態に応じてCAR-T細胞療法、救済化学療法、緩和的放射線療法、best supportive care、同種移植が選択される(図1)。また、救済化学療法間の優劣は明らかではなく、表1に示す救済化学療法のいずれかが選択される。
- エプコリタマブは、抗CD20モノクローナル抗体製剤を含む少なくとも2つの標準的な治療が無効又は治療後に再発した、LBCL (DLBCL、高悪性度B細胞リンパ腫、原発性縦隔大細胞型B細胞リンパ腫)とFL(Grade 3B)患者を対象として使用される。

図1: DLBCLの2次治療以後の治療アルゴリズム 造血器腫瘍診療ガイドライン2023年版(一部改変)



表1 再発・難治性DLBCLに対する救済化学療法一覧

DHAP療法 (DEX, CDDP, AraC)(+R)

(R)ESHAP療法 (mPSL, ETP, AraC, CDDP)

(R)ICE療法 (IFM, CBDCA, ETP)

CHASE(R)療法 (CPA, AraC, DEX, ETP)

Dose adjusted(DA)-EPOCH(R)療法 (ETP, PSL, VCR, CPA, DXR)

MINE療法 (MIT, IFM, メスナ, ETP)

GDP療法 (Gem, DEX, CDDP)

BR療法 (BEN, R)

Pola併用BR療法 (Pola, BEN, R)

DEX: デキサメタゾン, CDDP: シスプラチン, AraC: シタラビン,
R: リツキシマブ, mPSL: メチルプレドニゾロン, ETP: エトポシド,
IFM: イホスファミド, CBDCA: カルボプラチン, CPA: シクロホス
ファミド, PSL: プレドニゾロン, VCR: ビンクリスチン, DXR: ドキ
ソルビシン, MIT: ミトキサントロン, Gem: ゲムシタビン, BEN:
ベンダムスチン, Pola: ポラツズマブ ペドチン